

組合は教職員の権利を守り 教育研究の充実のために活動しています

より良い職場環境をともに作っていきましょう！



神戸大学教職員組合 委員長

また、組合は「機会ロス」が生じているのではないのでしょうか。4月の新職員オリエンテーションの際に、組合の説明と加入の呼びかけを行うほか、未組合員も参加可能な組合主催の催しでは、毎回、参加された未組合員の方に組合への加入を働きかけています。

小野 雅之

生じているのではないのでしょうか。



わたしたちの
取り組み

4月、新人さんや異動の方々を迎える1日のお昼は、お弁当を食べながら、組合・労働者代表の説明を兼任された方々にさせて頂いています。学校には、教員、事務職員、技術職員がいますが、職種を超えた情報交換や相談ができるのはおそらく組合だけです。また、うち



有明高専教職員組合 書記長

の組合は、全教職員の過半数で組織していて、就業規則の改正時には労働者代表として『意見書』を提出するという重要な役目も果たしています。皆さんもおそらくこれから様々なことに悩み、相談先に迷うこともあるでしょう。もしそんなことがあるたらあなたの近くの組合員に相談してみてください。あなたも教職員の労働環境を少しでも改善したいと思いませんか？この機会に是非組合に加入頂き、皆さんの力を貸して下さい。」さて、この春は何人ご協力頂けるでしょうか。

堀田 孝之

組合員拡大を行うには常に原点に帰ることが必要です。すなわち、「組合とは何ぞや」ということを未組合員に簡潔に説明することが重要です。私はオリジナルの説明文を作成して利用しています。その中では、組合の存在意義、組合員になることのメリット、組合が取り組んで



東北大学職員組合 委員長

山下 正廣

いること、この間の成果などを紹介しています。要望を聞いて、思いもなかったような要望などをすることもあり、運動が次々と展開していきます。また、組合活動が見えるようにするために組合掲示板の活用も大切です。しかし、最も重要なのは人間関係です。立ち話をするだけでいろいろな要求を聞き取ることが出来ます。それを解決することにより、組合加入を勧めれば半分くらいの確率で加入してもらえます。私の所属する化学専攻では過半数の教職員が組合員です。

国語研究所は規模の小さい研究所です。そのため、勧誘のビラを配布するだけでなく、できるだけ個別に訪問して勧誘するようにしています。6月頃に開催される総会にオプザーバーで参加し加入してもらおう、というのが通常の流れです。総会はお弁当つ



国語研究所職員組合 委員長

小磯 花絵

きで、それに誘われて来る人もいます。また、全所員を対象にオンラインでアンケートを行ったり、意見書・要望書などを全所メーリングリストで通知することで、組合活動をアピールしています。異なる所属の人と情報交換をする機会が持てることに魅力を感じて加入する人も少なくありません。そのため、懇親会や昼食会（お菓子つき）、落語会などのイベントを開催し、非組合員の参加も呼びかけています。

「公的支援への感謝として国旗、国歌」を強要する文科相こそ「恥ずかしい」 ～馳大臣発言への抗議声明を発表（3月7日）～

< 声明(短縮URL) <http://goo.gl/FhyhPN> >

2月23日、岐阜大学が今年の卒業式で国歌斉唱を従来通り行わない方針を決めたとの報道に対し、馳文部科学大臣は記者会見で「日本人として、特に国立大学としてちよと恥ずかしい」「自分が学長なら、公的資金による支援への感謝の気持ちとして(国旗、国歌を)重視する等」と発言しました。

1月に地方紙の取材に「学長選考で学内意向投票を行う国立大学は厳しく評価」と述べたのに続き、大学自治を尊重すべき立場上問題のある発言です。

全大教は、昨年4月にも安倍首相からの「国立大学の入学式、卒業式で国旗・国歌が正しく実施されるべき」との国会答弁に抗議声明を出しています。

（全大教新聞311号に掲載）

今回発表した声明では、昨年に引き続き大学自治への介入として今回の馳大臣発言に抗議し、各大学が毅然と自主的な態度を貫くよう改めて呼び掛けました。また、国旗掲揚、国歌斉唱の押し付けは個人の多様性の尊重に背くこと、教育への公的支援は馳大臣の言うような特別な恩恵ではなく、基本的人権の保障であることを訴えました。

文科相発言へは、憲法学者96人が撤回を求める声明を出しています。

全大教が2月末に行った緊急調査では、回答30大学中6大学で国旗、国歌について従来と異なる対応を予定していることが判明しました。

全大教は、学内民主主義に基づく大学自治と、大学の多様な構成員の自由を守る立場から運動を続けます。

全大教新聞

2016年 4月10日

第322号

【発行所】

全国大学高専教職員組合
(略称・全大教)



[PDF版(全面カラー)]
http://zendaiyo.or.jp/?page_id=107

[電話] 03-3844-1671

[HP] <http://zendaiyo.or.jp/>

[所在地] 〒110-0015
東京都台東区東上野
6-1-7 MSKビル7階

* 毎月1回10日発行
組合員の購読料は
組合費に含まれて
います(一部30円)

今月の紙面

- 2 高専機構理事長会見及び団体交渉を実施
- 2 2016年病院総会を開催しました
- 2 山形大学・未払賃金請求裁判第一審判決
- 2 シンポ「学生と市民のための大学づくり」
- 3 論壇「進化」する国立大学法人制度
- 3 神奈川大学法学部教授小森田秋夫
- 3 専門部等の活動報告「教員部」

- 4 教員部長 笹倉万里子(岡山大学)
- 4 単組からのレポート
- 苫小牧高専
- 「労働条件の改善と平和・地域活動」
- 国立天文台
- 「組合創立70年の新たなチャレンジ」
- わたしたしものと